

## Pixia による似顔絵の描き方 (その2) 色の塗り方

色塗りは、以下の手順で行います。

1. 3枚目のレイヤの追加
2. レイヤの白塗り
3. 色塗りの準備
4. 色塗り
5. 背景の入れ方
6. 保存方法

### 1. 3枚目のレイヤ (色) の追加


現在、“写真”と“線画”の2枚のレイヤがあります。ここで、3枚目のレイヤを追加します。

2枚目のレイヤ“線画”を選んで (赤枠が線画にある状態) から、編集 > 追加 > フルサイズを選んで、OKボタンをクリックします。




これで3枚目のレイヤが出来ました。

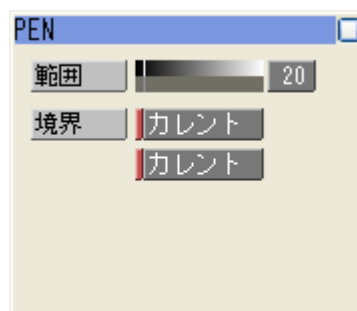
### 2. レイヤの白塗り

“P”パネル (PALETTE パネル) の2 > 白を選び、塗りつぶしツール  を押します。  
これで追加された“LAYER2”が白く塗られました。

### 3. 色塗りの準備

“LAYER2”の文字をクリック > レイヤ設定画面で、合成方法を“乗算”、レイヤの名前を「色」と入れて“OK”を押します。

次に、ツールバーの、“[領域] - 閉領域”アイコン  をクリックすると、“PEN”パネルが下図のように変化します。ここで“PEN”パネルに出てきた“カレント”を押します。“カレント”は2つありますが、どちらを選んでかまいません。



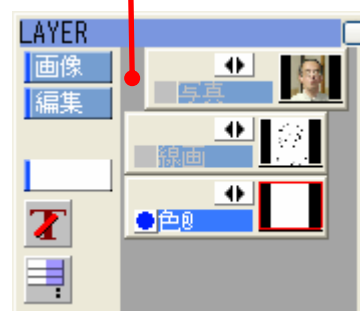
“レイヤ選択”画面（左下図）で、“任意のレイヤ”を選び、“レイヤ”を“線画”、“プレーン”を“画像”にして“OK”を押します。すると“PEN”パネルが右下図のように変化します。



また、色塗りでは写真が邪魔になるので“LAYER”パネルの写真レイヤを非表示にしておきます。非表示にするには、写真レイヤの赤丸部分をクリックして、右にずらします。




全てのレイヤが表示状態



写真レイヤが非表示

#### 4. 色塗り

塗りたい部分を選択（マウスカーソルでクリック）して、“Pパネル”から塗りたい色を選び、塗りつぶしツール  をクリックして色をつけていきます。（下の絵は、首の部分を選択したところです）



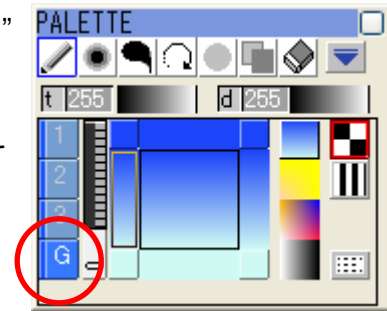
あとは、“塗りたい部分を選択”して“塗りつぶしツールで色づけ”の繰り返しです。なお、2つ以上の部分を選びたいときには、Shift キーを押しながらクリックします。

5. 背景の入れ方

4枚目のレイヤを追加します。

レイヤの追加方法は上記項目1・項目2と同じですが、“線画レイヤ”ではなく、“色レイヤ”を選んで追加します。

参考：“Pパネル”の“G”を選ぶと、背景にグラデーションが使えます。下図は、背景にグラデーションを塗った例です。



6. 保存方法

- 写真のレイヤを外した（似顔絵が見えている）状態で、メニューバーからファイル>名前をつけて保存を選び、“名前をつけて保存”画面を表示します。
- ファイル名に、好きな（分かりやすい）名前をつけ、ファイルの種類を“標準[\* .pxa]”以外に設定します。
- オススメは、“Windows ビットマップ[\* .bmp]”、“JPEG[\* .jpg]”、“TIFF[\* .tif]”のいずれかですが、編集では標準[\* .pxa]で保存しないとレイヤなどがなくなってしまうので注意してください。